

# トータルエイミングが重要

ASVにおけるエイミング作業は、これから避けて通れない作業のひとつとなります。  
 なお、車体整備の完成検査としては、エイミング作業を含む、ボディーアライメント、ホイールアライメントなどが  
 正常な状態であることを確認することが重要となります。

これからの車体完成検査の流れ(エイミング作業が発生する修理を行った場合)



※流れは事例であり、各カーメーカーの指定する手順にのっとり、作業を行ってください。

## BODY ボディー計測

3次元ボディー計測で車体中心線のずれはないか? 確認

NA-3003J-C2



## WHEEL ホイールアライメント計測

・アライメントテスターで  
スラストラインのずれはないか? 確認  
・基準値に入っているか?

ML-EASY-3D



タイヤ空気圧調整  
タイヤ空気圧を規定値に調整

## AIMING エイミング作業

専用ツールとスキャンツールで作業

ASV(先進安全自動車)の安全機能のエイミング サポートツール

### センターサポートナビ CSN-3A



ターゲット位置決めツール  
センターサポートナビ  
位置出しスタンド CSN-3A-OP-ST  
PAT.P

小型車~大型車の診断にこの1台!

### スキャンツール MST3000

マルチサポートツール

センターサポートナビとの併用でカメラエイミングがスムーズに!

### マルチエイミングボード CSN-MAB-3A



市販のターゲットを  
貼り付けて使用します。  
※ターゲットは付属されていません。  
※レーザーレーダーのエイミングにはご利用いただけません。



# BANZAI NEWS

2020  
Spring  
314

特集  
BANZAI NEWS

## ASVへの技術対応(その1) 特定整備認証制度・OBD検査の概要とその意味



BANZAI 株式会社 バンザイ <http://www.banzai.co.jp>

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: eigo@banzai.co.jp

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171  
E-mail: sapporo\_br@banzai.co.jp

東京支店  
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F  
TEL 03-3769-6840  
E-mail: tokyo\_br@banzai.co.jp

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201  
E-mail: hirosima\_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡  
郡山・山形・新潟・長野  
前橋・宇都宮・水戸・埼玉  
千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸  
高松  
●出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・山陰・長崎  
大分・熊本  
●販売会社 バンザイ南九州販売(株)  
バンザイ沖縄販売(株)

営業部  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6881

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221  
E-mail: sendai\_br@banzai.co.jp

名古屋支店  
名古屋市中千種区青柳町6-26  
TEL 052-732-2600  
E-mail: nagoya\_br@banzai.co.jp

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261  
E-mail: fukuoka\_br@banzai.co.jp

海外販売部  
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F  
TEL 03-3769-6894

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-5-53  
TEL 048-590-3700  
E-mail: kanto\_br@banzai.co.jp

大阪支店  
大阪市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041  
E-mail: osaka\_br@banzai.co.jp



100周年記念付録付き!



岩木山と桜 ————— 青森県板柳町 岩木川河川公園

津軽平野の西にすっきりとした姿を見せてそびえる津軽富士、岩木山。古くから信仰の山として参詣登山の人々を集め、津軽のシンボルとして愛されてきました。岩木川の川沿いに広がる河川公園から、桜を裾模様に眺める山容はいちだんと秀麗です。

### ★歳時記

- 4月 18日 発明の日
- 29日 昭和の日
- 5月 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 6月 5日 環境の日
- 10日 時の記念日
- 21日 夏至



### ●目次

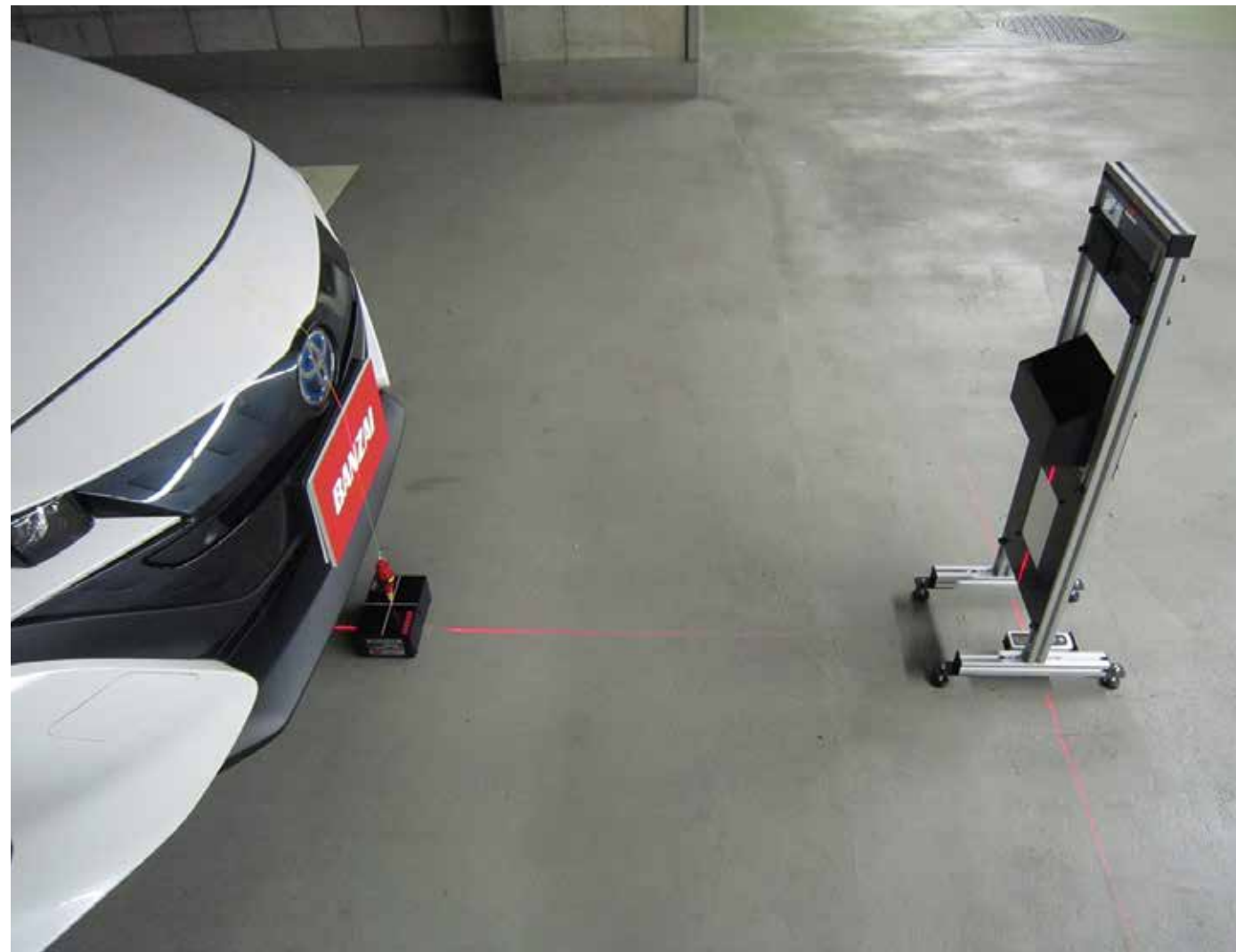
- ★特集 大変革時代への備え  
～ピンチをチャンスに変えて勝ち残るために～  
【第1回】ASVへの技術対応  
特定整備認証制度・OBD検査の概要とその意味…… ①
- ★バンザイ100年の歩み…… ⑥
- ★モデルショップ訪問【トヨタカローラ青森株式会社 青森中央店】… ⑧  
大型書店とGRガレージを併設、  
「お客様が集まる」ワンストップショップに
- ★モデルショップ訪問【株式会社関東マツダ 板橋本店】…… ⑩  
「マツダブランドの発信拠点」として  
全社の中核を担うフラッグシップ拠点をオープン
- ★ショールーム …… ⑫
- ★ロータリー …… ⑬
- ★BANZAIガイド …… ⑭

## 特集 BANZAI NEWS

第1回

### ASVへの技術対応(その1) 特定整備認証制度・OBD検査の概要とその意味

大変革時代への備え  
～ピンチをチャンスに変えて勝ち残るために～



今、自動車業界は100年に一度の大変革時代を迎えていると言われており、日本のアフターマーケットにおいては4月1日より、ついに「特定整備認証制度」がスタートしました。また2024年からは「OBD検査」も本格的に開始されます。

その中でサービスショップが勝ち残るには、まずそれらに着実に対応し、かつ事業拡大に活かすことが、極めて重要になります。

当新連載「大変革時代への備え～ピンチをチャンスに変えて勝ち残るために～」では、「特定整備認証制度」や「OBD検査」をはじめとした目前に迫る大変革について、対応策と活用法を考えていきたいと思ひます。

## 特定整備とは何か？ 電子制御装置整備の 対象となるのは？

さて、新しく生まれた「特定整備」とは、一体何のことでしょうか？

端的には従来の「分解整備」に、レベル2以下の自動運転システム（＝「運行補助装置」）、具体的には衝突被害軽減ブレーキおよびレーンキープアシストと、今後市販化されるであろうレベル3以上の自動運転システム（＝「自動運行装置」）に対する点検整備を追加したものを指します。

なお、この新たに追加された「運行補助装置」や「自動運行装置」の点検整備をまとめて「電子制御装置整備」と言いますが、これは厳密には、

＜運行補助装置の場合＞

- ① 車両の状態および前方の状況を検知するためのセンサー
- ② ①の情報を処理するコンピューター（ECU）
- ③ ①のセンサーが取り付けられた車体前部および窓ガラスの取り外し、取付位置もしくは取付角度の変更を行う整備または改造

＜自動運行装置の場合＞

- ・自動運行装置を取り外して行う整備または改造
- ・自動運行装置の作動に影響を及ぼすおそれがある整備または改造

と定義されています。そして、この「電子制御装置整備」を行うには、新たに「電子制御装置整備」の認証を取得しなければならなくなりました。

しかもこの制限が適用されるのは、従来の分解整備事業者や指定整備事業者だけではなく、車体整備事業者、電装品整備事業者、自動車ガラス修理事業者も同様に、「電子制御装置整備」を行うには「電子制御装置整備」の認証を取得しなければならなくなったのです。

つまり「電子制御装置」が装着されている車両に関しては、カメラやミリ波レーダー、赤外線レーザー、LiDARなどセンサーのエイミングを行う場合はもちろん、センサーが取り

付けられているバンパーやグリルなどを脱着するだけでも、「電子制御装置整備」の認証を取得する必要がある、ということです。

では、その「電子制御装置整備」の対象となる車両は、どのように見分ければよいのでしょうか？

実は現時点では、衝突被害軽減ブレーキやレーンキープアシストが装着されている全ての車両が「電子制御装置整備」の対象となっているわけではありません。具体的には、車検証に記載されている初度登録年月が、別表の判定フロー図で示されている保安基準の適用年月日以降になっている車両が、それにあたります。

ただし、先取りして保安基準の適用を受けている車両もあるため、初度登録年月が保安基準適用年月日以前の車両でも、国土交通省Webサイトの「電子制御装置整備の対象車両」ページ ([https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_fr9\\_Target\\_vehicle.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr9_Target_vehicle.html)) から、対象車両かどうかを確認する必要があります。

## 電子制御装置整備の 認証取得に必要な 「人」と「設備」は？

さて、「電子制御装置整備」の認証にも従来の分解整備と同様、「人」と「設備」に関して基準が設けられています。

まず「人」に関しては、2名以上の工具が必要で、自動車整備士資格の保有割合が全工具の1/4以上という点は変わりませんが、自動車整備士および整備主任者に求められる資格の中身が異なります。具体的には、

＜「電子制御装置整備」講習受講義務なし＞  
・1級（二輪を除く）

＜「電子制御装置整備」講習受講が必要＞

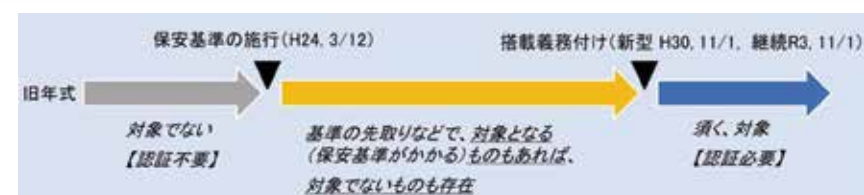
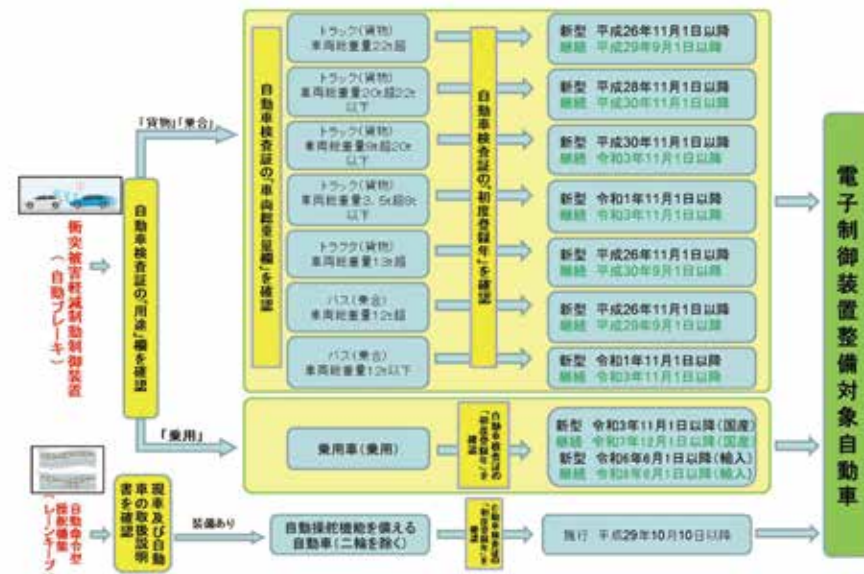
- ・1級（二輪）
- ・2級
- ・3級
- ・車体
- ・電気装置

となっています。なお、整備主任者については、全員が上記の条件を満たす必要があります。

次に「設備」についてですが、「電子制御装置点検整備作業場」の寸法要件は別表の通りとなっています。ただし“平滑な”場所であることが求められており、水平を確認するために必要な「水準器」の保有も義務づけられています。また、それとは別に、路上駐車を防ぐための「車両置き場」も必要とされています。

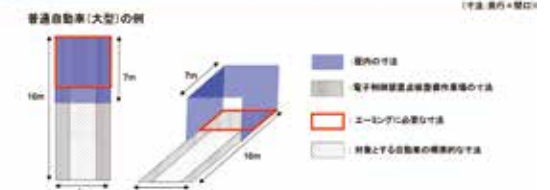
しかしながら別表の寸法要件は、あくまでも認証基準に必要な最低限のものです。実際に必要な広さは車載システムによって異なり、もっと広いこともありますので、それを見越した作業スペースを確保する必要があります。

また2024年から、保安基準に適合しないおそれのある装置の不具合（＝「特定DTC」）の有無を「法定スキャンツール」で検出し、車



「電子制御装置整備」の対象となる車両の判定フロー図 (上) と、8~20tトラックの具体例 (下)。先取りして保安基準の適用を受けている車両は確認が必要となる (出典：国土交通省自動車局整備課「電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習」)

車種	長さ	幅	高さ	重量	最大積載量	最大積載高さ	最大積載幅
電子制御装置点検整備作業場の寸法	16m	13m	7m	6m	6m	6m	5.5m
5% 傾斜の寸法	7m	7m	3m	3m	3m	3m	4m
(参考) 屋内作業場の通行基準 (床面傾斜率1%以下)	13m	10m	8m	8m	8m	8m	3.5m



「電子制御装置点検整備作業場」の寸法要件 (出典：国土交通省「特定整備制度概要」)

検の合否判定を行う「OBD検査」が導入されますが、「特定DTC」が出た場合にその原因である箇所を特定し整備する必要があります。「整備用スキャンツール」が必要工具とされています。

なお、この「整備用スキャンツール」に適合する機種は、日本自動車機械器具工業会Webサイトの「整備用スキャンツールリスト」ページ (<http://www.jamta.com/scan-tool-list>) に掲載されていますので、自社が保有する、またはこれから購入するスキャンツールが該当するか、認証取得前に確認する必要があります。

そのほか、整備に必要な情報や、エイミングで必要になるターゲットなどの専用器具については、車両ごとに大きく異なるため、認証取得の要件には含まれていませんが、実作業では必要なためそれらを入手する方法を確立しておくことが求められています。

しかし、「自動運行装置の点検整備に必要な情報が入手できない事業場には認証を与えられない」と明言されていますので、実際には日本自動車整備振興会連合会が提供するオンライン整備情報提供システム「FAINES」への加入や、自動車メーカーが発行している整備マニュアルの購入が必要となります。

なお、特定整備認証では、

- ① 従来の分解整備のみ行う
- ② 「電子制御装置整備」のみ行う
- ③ 従来の分解整備と「電子制御装置整備」の両方を行う

パターンが用意されていますが、③の場合は従来の分解整備と「電子制御装置整備」、双方の認証基準を全て満たさなければなりません。

バンザイでは「センターサポートナビ」や

「マルチエイミングボード」、「位置出しスタンド」といった、エイミング作業の効率と正確性を大幅に高める機器をご用意しております。また、認証機器とされている水準器を含んだスターターキット「エイミングセット」、そして「MST3000」

特定整備認証に役立つ関連機器ラインアップ



バンザイでは「センターサポートナビ」「マルチエイミングボード」「位置出しスタンド」「エイミングセット」「MST3000」といった、エイミング作業と特定整備認証に役立つ関連機器を多数ラインアップ



など「整備用スキャンツール」に適合する高性能スキャンツールも多数ラインアップしておりますので、「電子制御装置整備」を含む特定整備認証を取得される際はぜひご活用下さい。

裏を返せば、2021年9月30日以前は保適証が交付できることとなりますが、「電子制御装置」の点検整備をするにはその認証が必要なことには変わりありません。

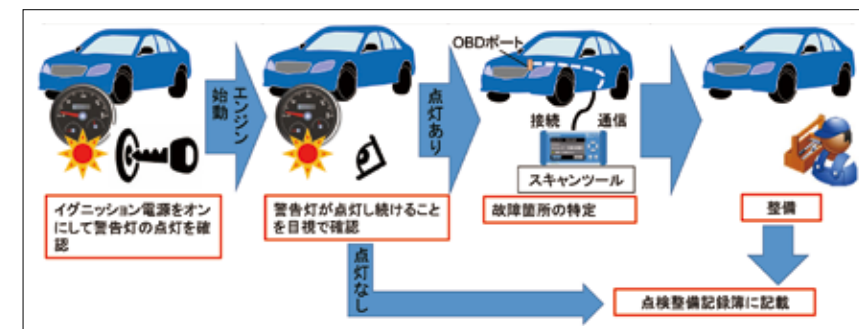
電子制御装置が 2021年10月1日より 12ヵ月点検の対象に

そしてもう一つ、大きな変更点があります。それは、点検基準の見直しです。「OBD検査」の対象外となっている大型特殊自動車、被けん引自動車、二輪自動車を除き、「電子制御装置」が2021年10月1日より12ヵ月点検の対象となり、その作業内容を「OBDの診断の結果」という項目で、従来の分解整備記録簿に代わる「特定整備記録簿」に記載することになったのです。

このように、「特定整備認証制度」と「OBD検査」の開始によって、サービスショップは否応なしに大変革を余儀なくされます。そしてこれらは、ADASがすでに当たり前のものとなりつつあること、そして自動運転システムが今後普及・進化するに伴い「特定整備認証制度」と「OBD検査」も変化し対象が拡大していく可能性が高いことを意味しています。

今回は、自動運転システムの現状を振り返るとともに、この「特定整備認証制度」と「OBD検査」をどう事業拡大に活かすかを考えてみたいと思います。

これに伴い指定整備事業者では、「電子制御装置整備」の認証を受けていなければ、「電子制御装置整備」の対象車両に保安基準適合証（保適証）を交付することも、2021年10月1日以降はできなくなります。



「電子制御装置」12ヵ月点検の流れ (出典：国土交通省「特定整備制度概要」)

特定整備(両方)の認証を受けた事業場	特定整備(分解)または特定整備(電子)の認証を受けた事業場 (記載内容の例は特定整備(分解)の認証を受けた事業場)
<p>関東運輸局長認証 普通自動車特定整備事業 普通自動車(小型) 普通自動車(乗用) 普通自動車(中型)(電子制御装置整備(自動運行装置を除く)に限る)</p>	<p>関東運輸局長認証 普通自動車特定整備事業 普通自動車(中型)(分解整備(動力伝達装置、走行装置、操縦装置、制動装置、緩衝装置)に限る) 普通自動車(小型)(分解整備に限る)</p>

特定整備認証事業場の認証標識(看板)イメージ (出典：国土交通省関東運輸局自動車技術安全整備課「特定整備制度説明会」)



「OBD検査」の概要 (出典：国土交通省「車載式故障診断装置を活用した自動車検査手法のあり方検討会報告書(概要)」)

# バンザイは2020年6月1日、おかげさまで創業100周年を迎えます。



## BANZAIビジネスの源流、信州小諸

長野県東信地域に位置する佐久地方は古くは江戸から京都へ上る中山道、越後へ向かう北国街道、また甲州へと南下する佐久甲州街道の交差する交通の要衝であった。

バンザイの創業者である柳田諒三の養家である柳田茂十郎商店（以下「柳茂」）のあった、佐久・小諸は戦国期からの城下町として栄え、また北国街道の宿場町として人が行き交い、物流で賑わった商業の町でもあった。



小諸市荒町の街並み



旧北国街道小諸宿道標



関東と越後を結ぶ往還であった

### 江戸から明治へ、近代化へのスタート



初代・茂十郎

「柳茂」の初代・柳田茂十郎は天保4（1833）年、小諸藩牧野氏の御用商人をつとめる薬種商で、信州一円はもとより越後、上州、江戸にまでその名を知られた柳田五兵衛の次男として生まれ、若くして分家、独立して茶と小間物を扱っていた。

幕末期に青年時代を送った初代・茂十郎は、派手好みでもあり相当な野心家でもあったらしい。万延元（1860）年から文久年間にかけては静岡の茶商から茶葉を仕入れて、品川沖に停泊する外国船にわたりをつけて売り込むという一獲千金の商売を手掛けたこともあったという。しかしこうした投機的商売は結局破綻し、小諸に戻ってからは打って変わって質素儉約、堅実な商法を追求するようになる。

### 時代に先駆ける近代的経営を实践

「柳茂」では明治の初期からいち早く近代的な経営を取り入れ「柳田商法」と呼ばれた。まだ丁髷（ちょんまげ）が一般的な中で従業員に散髪をさせ、「柳田式」と呼ばれた木綿の洋服を着用させ、また店舗にはテーブルと椅子を置き、正価販売を行うといったように、まだ西洋化が浸透する以前の地方都市においては珍奇とも見られたほどの進歩的な商法で知られていた。

また勤務を時間制とし、合議制を導入し、従業員の待遇改善、指導教育にも力を入れ、貯蓄制度を設けて貯金を励行し、年季奉公が終わった者への独立支援にも力を入れていた。



島崎藤村の旧居跡。エッセイ「千曲川のスケッチ」の中で、佐久の風土を代表する人物として茂十郎を紹介している。

### 信州一円に系列店を展開

諒三の時代には小諸の荒町にある「柳茂」の本店は三代・茂十郎の時代となっていた。本店から分かれた「分家」「別家」、さらにその「二次別家」など、取扱商品も本家の金物・荒物から、呉服、小間物、油など多岐にわたっていた。最盛期には系列の店で80店舗近くが長野県内一円に展開されていたという。「分家」は柳田家の血縁者による出店であり、「丸に柳」のマークを商標として掲げ、また「別家」は従業員による出店で、柳の字をアレンジした様々な商標を使用していた。かつて長野県一円にホームセンターを展開していた（株）オークサ本社では「柳」の左に縦棒を引いた「ボウリュウ」を、また諒三が開いた日本橋のエンパイヤ自動車では「マルヤナギ」の商標を用いていた。



明治期、大売出しの風景



「丸柳」の商標登録



エンパイヤ自動車でも使われた丸柳の商標

### 100年、脈々とつなぐビジネスの源流

諒三が実際に小諸の「柳茂」商法からどれほどの影響を受けたかは定かでないが、エンパイヤ自動車協会における経営者としての取り組みには注目すべき部分が多い。その一つの表れとして従業員教育がある。新期卒業者を定期採用し始めたのは昭和3年からのことであるが、3か月間は部署に配属せず実務教育を実施した。また平常の業務の中での実務教育はもちろん、終業後に定期的に大学から講師を招いて英語の教育を行うなど、社会人としての教育にも力を入れていた。また独身の社員は全て入寮させ、強制的に貯蓄を行わせて将来の住宅取得等の費用にあてるなどの施策も、「柳茂」で行われていた貯蓄法を真似て採用したものともいえる。諒三が自らのビジネスで実践したのは、こうした明治期から培われた信州商人の先進的経営の手法であった。

### カタログで振り返るサービス機器の歩み <車検機器>

#### WG-200 定置式サイドスリップテスター 1954(昭和29)年

運輸省型式認定第1号。測定方式はほぼ現在のテスターと同様と思われる。前進方向1mにつき1mmの横滑り量を1目盛で表示。0~3が緑、3~5が黄色、5以上が赤で表示され、5以上ではブザーと赤ランプで不合格判定を知らせる。



#### SL-85 音量計 1958(昭和33)年

運輸省型式認定第32号。警音器は前方2mで90~115ホン。走行音は35km/h時に車両中心線から左方7mで85ホン以下。排気音はエンジンの最高回転数の60%時に後方20mで85ホン以下とされている。



#### HT-50C ヘッドライトテスター 1954(昭和29)年

運輸省型式認定第8号。光電セルにより前方10mの照度をルクスで表示。前方10mで10ルクス以上。また光軸は前方50mで上方1m以下、下方は0m以上。左右は前方50mで左右に1m以内を合格としていた。



#### FBT-300 フラッシュ型ブレーキテスター 1958(昭和33)年

運輸省型式認定第17号。ブレーキテスターとしては初の認定。一輪当たり最大許容荷重4,000kg、最大制動力3,000kg、力量計最大目盛3,000kg、同最小目盛20kgとなっている。表示部が別置式となっており、テスター部のカバーが別売されていた。



# 大型書店とGRガレージを併設、 「お客様が集まる」ワンストップショップに

トヨタカローラ青森(株)では、このたび同社の11番目の拠点として、「青森中央店」をオープンしました。地上4階建て、大型書店との複合店舗というユニークな店舗形態とともに、車とサービスの「ワンストップショップ」というコンセプトに注目されます。



青森環状道路に面したCaplus青森の店舗外観



らせん構造の階段で回遊式のレイアウト。各階が駐車場と直結

「ブックスモア青森中央店」フロア中央部は4階まで吹き抜けになっている

## 「本」と「車」のコラボする複合店舗

青森市街地の南側を東西に走る青森環状道路に面して新店舗「Caplus(カプラス)青森」があります。屋上のサインタワーには「本」とトヨタのロゴマークを掲げ、一見ショッピングモールを思わせる外観です。店舗の1階から3階は書店の「ブックスモア青森中央店」とトヨタカローラ青森の「青森中央店」および「GRガレージ青森中央」、4階には同社の本部機構を置いています。

「ブックスモア」は同社がグループ企業として運営する大型書店で、系列の秋田トヨタで6店舗、カローラ青森では5店舗をすでに outlet しています。今回 outlet した書店は東北地方最大級、1〜3階まで計5250平方メートルのフロアに書籍40万冊以上、文具2万アイテム以上を揃えているほか、自由に過ごせるフリースペースも設け、平日、土日を問わず多数の来店客で賑わっています。



代表取締役  
大柳 康司氏



サブマネージャー 主任  
小田桐 健太氏

## 車検からアライメントまで、あらゆるサービスに対応

「青森中央店」としては1階にサービス受付とサービス工場、2階には「GRガレージ青森中央」、3階にショールームをレイアウトしています。サービス工場は一般・車検整備に6ストール、GRガレージ専用ストール、さらにアライメントストール、洗車場、検査ラインを併設しています。

主な設備はタンデムリフトを計6基、ワークステージXを1基、また検査ラインにはワークステージXおよびネットワークシステムを導入しているほか、アライメントストールにはドライブオン四輪アライメントテスター「ビーダイナ」を設備。さらに環境面では遠赤外線暖房のほか蓄熱暖房機により寒冷期も快適な環境を実現されています。



1階文具コーナーの奥にサービスフロントが見える

サービス工場外観、左側2スパンにスピードシャッターを装備



検査ラインにはネットワーク、固定式フリーローラーを設備



門型洗車機、自動下部洗浄機を設備した洗車場



タンデムリフトを前後に2基ずつ配置、奥側を重整備ストールに



ドライブオン四輪アライメントテスター「ビーダイナ」



ワークステージXはクイック整備にも活躍

サービス工場内2か所に工程管理モニターを設置



3階のショールーム・フロント



初代と新型カローラが並ぶショールーム

## 本も車も「あの店に」、一番店効果を目指す

新店舗のオープンから1カ月、「受付されてサービスをお待ちになる間でも、お客様が苦痛に思われないんです」とサブマネージャーの小田桐健太氏。これまでのようにサービスをお待ちになる間も、時間を気にされるお客様が少ないのだそうです。

「今はお客様がお店を選ぶ時代です」と代表取締役、大柳康司氏。そのため「買いたい本を探す時でも、車の整備を受ける時でも、まずあそこのお店に、と思っただけが一番店であることが大切です」とのこと。お客様を集めるのではなく「集まる店」に、というのがお店のコンセプトです。そしてもう一つは「車に関するあらゆるサービスを提供できる、ワンストップショップであること」です。点検・車検はもちろんスポーツドライビングまで、幅広いニーズに対応できる体制が実現されています。

オープン直後からSNSで店舗の口コミが広まり、GRガレージ青森中央にも平日、土日を問わず連日の盛況とのこと。「車の用事がないお客様も、気軽に来たいと思っただけの店に」と新店舗での今後の展開に期待されています。



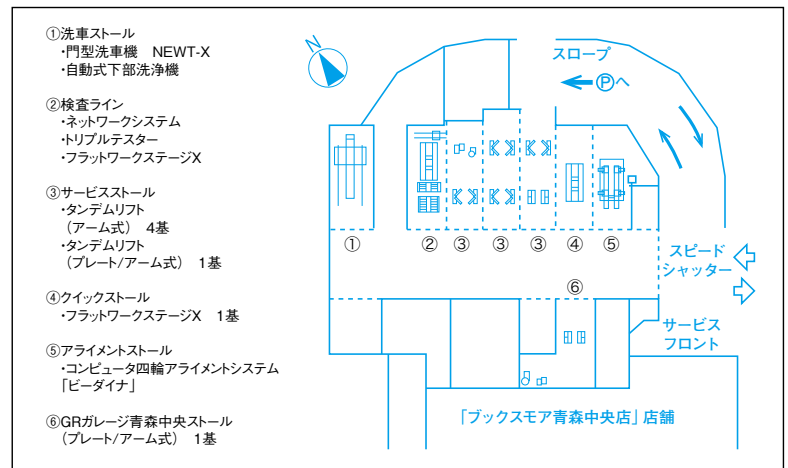
2階コミックコーナーの隣にGRガレージ青森中央がある



北東北地方では初となるGRガレージ青森中央



連日ファンで大賑わいのeスポーツコーナー



# 「マツダブランドの発信拠点」として 全社の中核を担うフラッグシップ拠点をオープン

東京、神奈川、埼玉、群馬の1都3県をネットする(株)関東マツダでは昨年、本社社屋ならびに板橋本店の建て替えリニューアルを完了、マツダが全国展開する新世代店舗として、同社では洗足、目黒碑文谷、高田馬場に続き都内で4拠点目となる旗艦店舗としてオープンしました。



国道254号線、川越街道に面した社屋。環境と採光に配慮した店舗デザイン



店長  
福島 敏晶 氏



サービスマネージャー  
田原 利行 氏



エントランス左側の「ショーケース」では話題のニューモデルを展示



1階レセプションカウンター



展示車両を引き立てる  
ショールーム



カフェカウンターと商談ルームを奥側に配置



落ち着いた雰囲気の納車ルーム

**マツダ車の魅力をよりアピールできる店舗に**  
都心から池袋を経由して埼玉方面へ西北に伸びる国道254号線に面した新社屋は、グレーを基調としてガラスと壁面を交互に組み合わせた斬新なデザインです。新社屋は8階建ての6階以上を本社にあり、1階から5階までを板橋本店としています。1階はエントランス及びレセプション、2階はショールーム、3階を納車ルームと駐車場、4階をサービス工場としています。前面をガラス張りとした1、2階部分には道路に面してマツダのニューモデルを展示し、「マツダ車をより美しく」見せる店舗として通行するドライバーや歩行者にもアピールしています。

## 採光・空調、オフィス並みの快適環境を実現

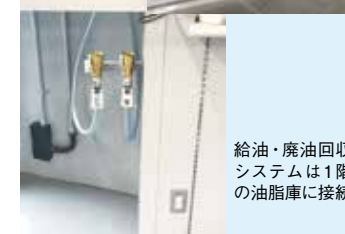
サービス工場はサービスストール8ストールに検査ラインと洗車ストールを併設しています。主な設備は一般・車検整備用にイーグルFXリフトを7基、重整備用に2柱リフトを1基設備し、あらゆるサービスに対応。また1階の油脂庫と廃油タンクにつなぐ給油・廃油システムを導入、オイルサービスの省力化、効率化を実現。

検査ラインには4WD車に対応する固定式フリーローラーを設備、また洗車場には門型洗車機と下部洗浄機を導入しています。

多層階工場にも設置が可能なイーグルFXリフトによりフラットな床面を実現し、作業の安全性、効率性に配慮、また埋設式排気装置、空調設備によりオフィス並みの快適な作業環境を実現しています。



上昇、下降時もフラットなイーグルFX導入で作業性と安全性に配慮



給油・廃油回収システムは1階の油脂庫に接続



サービスストールは8ストール。エアコンと床下排気装置で作業環境も快適



重整備にも対応するゲートリフトIIIを設備

## 多層階工場としてきめ細かいオペレーションを実施

新店舗は単に地域エリアのみならず、首都圏における「マツダブランドの発信拠点」と位置付けられています。「他系列ユーザー、また他ディーラーからも注目されているので、スタッフ全員が高い意識で運営に当たっています」と店長の福島敏晶氏。メガディーラーの旗艦店舗として重要な役割を担われています。

多層階店舗として顧客対応には1階の受付と4階の工場との連携が不可欠となることから、作業進行の「見える化」などにより、きめ細かいオペレーションが行われています。

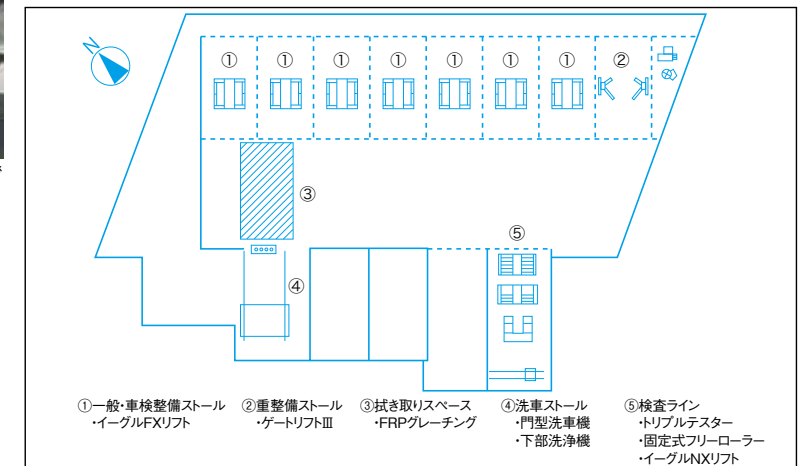
顧客対応面では「お客様にお待ち頂いての受入検査、見積提示、整備のご決定という流れをスムーズに、確実に実施することが大切になります」とサービスマネージャーの田原利行氏。マツダファンのお客様にはサービスに関心の高い方も多いとのことで、信頼頂けるサービスをアピールするため、新車点検時にはサービス工場にご案内してお車の説明を実施するなど、積極的に新工場をアピールされています。そのため清掃、整理、整頓など6Sの徹底、さらにメカニックも含めたマナー研修の実施など、全スタッフによる万全の顧客対応に力を注がれています。



検査ラインにはトリプルテスター、固定式フリーローラーを導入



6本ブラシのエミネントレボリューションと下部洗浄機を設備。ストールの前にFRPグレーチングを敷設し水の飛散を防止



# SHOW ROOM

## 【手指用除菌剤】B-PROアルコール除菌ジェル 1L BCQ-212A1

### 除菌効果を発揮するアルコール70%以上配合

- 手など皮膚の消毒には消毒用アルコール70%以上が有効であることが分かっています
- エンベロープウイルス(脂質性の膜を持つウイルス)の膜を壊してしっかり除菌
- ムダ無く適量で手指を簡単除菌できるジェルタイプ
- WHO(世界保健機構)の推奨する1プッシュ3mlで、1本約333回使用可能

型式	仕様
BCQ-212A1-24	1,000ml×24本
BCQ-212A1-84	1,000ml×84本



## 【カーディティーリング用 消臭・除菌】B-PROオキシクリア

### 幅広いウイルス・菌をしっかり除菌 カビ、微生物など車内のニオイの原因物質を分解、消臭

- ステアリング、シフトノブ、ドアノブ、内装などのウイルス・菌の表面除菌に
- 中古車の商品化、レンタカーの消臭・除菌に
- 瞬間消臭効果プラス強力除菌の付加価値サービス
- パルストルネーダーガンで吹き付けるだけ、手軽で効果的な施工システム
- 主成分の二酸化塩素は安全性が高く、食品、環境浄化にも豊富な使用実績



使用イメージ

型式	商品名・仕様
SBS-13C4	オキシクリア (消臭・除菌) 4L
SBS-13C05	オキシクリア (消臭・除菌) 500ml
HE-2S	パルストルネーダー S
BCQ-008RE	レギュレーター (0.0-1.0 MPa) プラグ付
SBS-MS-5	防護マスク 5個入り



SBS-13C4



SBS-13C05



BCQ-008RE

SBS-MS-5

# SHOW ROOM

## 【手洗い洗車システム】B-PROタッチレス洗車

### 専用洗剤を吹き付けてすすぎ、拭き取るだけ きめ細かい泡で効率的、安全に「タッチレス洗車」

#### タッチレス洗車とは？

<b>洗車時の安全性をアップ</b>	ミニバン・SUV等の洗車作業における作業脚立の使用を最小限に抑え、洗車場での転落事故等を軽減します。	<b>優れた洗剤</b>	タッチレス洗車用に配合された強力洗浄剤で、こびり付いた虫の死骸、ブレーキダスト等を擦らずに洗浄できます。
<b>洗車時間を短縮</b>	手洗いに要する時間が必要ない為、1台当たりの洗車時間が2~3分短縮可能です。	<b>世界標準の洗車メニュー</b>	海外では標準的な手洗い洗車方法です。まだ、日本では導入されていないタッチレス洗車でCS向上が見込まれます。
<b>洗車スタッフの疲労軽減</b>	手洗い、脚立の昇降作業などが無くなり、洗車スタッフの疲労軽減に大きく貢献します。		

#### 3ステップで効率洗車

**STEP1 泡噴射**

・スノーフォームガンでボディ全体を包み込むように泡を噴射

・タイヤ、ホイールには特に念入りに  
(※噴射時は手袋を使用してください)

**STEP2 高圧洗浄・すすぎ**

・高圧洗浄用ノズルで洗浄・すすぎを行います

・ホイールなど汚れが激しい箇所はノズルを近付けてすすぎます

**STEP3 拭き取り**

・すすぎ後は水分が乾く前にふき取ってください

#### <システム構成>

- ①ストップガン(スノーフォームランス付) ②タッチレスウォッシュクリーナー  
③ナイスホット温水洗車機 KHW-1100 もしくはKHW-1600 ④防塵メガネ、保護手袋 ※③、④は別途ご用意ください



①ストップガン(スノーフォームランス付)  
型式:BCQ-945B



②タッチレスウォッシュクリーナー  
型式:BCQ-211A18



④防塵メガネ、保護手袋



③ナイスホット温水洗車機



# SHOW ROOM

## 【屋外用エアコン】アウタータワー SPP71AV

夏の屋外空間を快適に!  
展示会・イベントに最適の屋外用エアコン

- 前後、左右の4方向、範囲3メートルを快適空間に
- 室内機・室外機を一体として、冷媒配管工事が不要
- ※電源工事、ドレン排水工事は必要です
- 場所を問わず雰囲気に調和するシンプルデザイン

3m先で風速1.0m/s以上  
※35℃、無風状態

- キャスター付きで移動・移設が容易
- 別売の固定用据付板の使用で転倒を防止



型式		SPP71AV
電源		単相 200V 50/60Hz
冷風吹出温度差(℃)	50/60Hz	8/9 ※1
冷房能力(kW)	50/60Hz	6.3/7.1 ※2
冷房風量(m <sup>3</sup> /min)	急/強/弱	28.8/22.1/18.0 ※3
外寸(mm)/質量(kg)	本体	W521×D521×H1,700 / 100
	据付板	W1,016×D1,016×H4.5 / 34
運転電流(A)	50/60Hz	11.0/12.0 ※2
定格消費電力	50/60Hz	2.00/2.30 ※2
使用冷媒		R32
防水性能		IPX4
運転可能外気温		冷房 20℃~40℃ ※3
運転モード		冷房・(暖房 ※4)・送風 ※5

※1 周囲条件35℃(DB)、24℃(WB)時の数値(DB:乾球温度 WB:湿球温度)

※2 周囲条件35℃(DB)、28.5℃(WB)時の数値

※3 運転可能外気温の上限付近では、自動で風量が落ちることがあります。  
また運転可能外気温を超えた場合は自動で送風運転に切り替わります。

※4 暖房は外気7~25℃の範囲で運転でき、風量「急」設定時、風量13(m<sup>3</sup>/min)、吹出温度差20(℃)の弱暖房機能です。

※5 起動後、約90分間は機器保護のため冷房・暖房運転ができません。

快適な屋外空間を創造!

場所を選ばない!

景観をそこなわない  
シンプルデザイン



# SHOW ROOM

## 【高演色作業用ライト】サンマッチ3シリーズ SGP-SM3 / SGP-MM3

磨き作業、色合わせ、作業灯としても使える  
ハンディタイプの高演色LEDライト



### SUNMATCH3 サンマッチ3

型式SGP-SM3

- 色温度2500K~6500K切り替え可能
- 演色評価指数:96CRI+SPOT 95CRI
- 全光束(ルーメン)200~500lm
- 重量 270g
- サイズ 190×60×32(mm)



### MULTIMATCH3 マルチマッチ3

型式SGP-MM3

- 色温度2500K~6500K切り替え可能
- 演色評価指数:96CRI+
- 全光束(ルーメン)300~3,000lm
- 重量 1,970g
- サイズ 240×230×104(mm)



### WHEEL STAND ホイールスタンド

型式SGP-WS

- 伸縮高さ:最小0.7~最大1.9メートル
- 最小:0.7m
- 最大:1.9m

## 【充電・バックアップ電源】CTEK バッテリーチャージャー&パワーサプライ PRO120

最大120Aの強力バックアップ!  
コンピュータ書き換え時のバックアップにも対応

- 鉛バッテリー、リチウムフェライトバッテリー(LifePO4)に対応
- 最大出力120A。アイドリングストップバッテリーをはじめ大型化するバッテリーでも短時間で満充電が可能。
- コンピュータ書き換え時のバックアップにも使用可能。
- 各メーカー・車種の指定電圧に対応(12.6~14.8V)
- 安心の2年保証



型式	PRO120
入力電圧	200~240V 50/60Hz
出力	最大 120A
対応バッテリー	・鉛12Vバッテリー(開放型・密閉型・ゲル型・ドライ型) ・リチウムフェライトバッテリー LifePO4
サイズ	408×226×285(mm)
ケーブル長	DC側:5m AC側:2.5m
重量	13.77kg
使用温度	-20℃~+50℃

## MSC経営戦略会議 第122回研究会を開催



会場のJALシティ仙台に全国から会員が参集

自動車整備業の先進的経営戦略を追求する経営者の集団、MSC経営戦略会議では去る2月18～19日の2日間にわたって仙台市、福島市において第122回研究会を開催しました。

地震や台風などによる災害、さらに今回の新型コロナウイルスによる社会的影響など、企業にと

って各種のリスクへの備えが不可欠な時代となっています。こうした中で、今回の研究会では日本総合研究所・主席研究員部長および総合災害対応訓練機構・専務理事の佐藤和彦氏を講師として「自動車技術進化の影響シミュレーション～特定整備を中心に～」と「防災経営～大規模化する災害から企業を守るために～」の2つのテーマで講演を行いました。

自動車技術の進化が整備市場にどのような影響を及ぼしていくのか、佐藤講師は自動車保有台数や整備工場数、台当たり売上高の推移などの分析をもとに、本年スタートする特定整備への対応と予測を展開。

また自然災害など様々なリスクから人、モノ、金、情報などの経営資源を守るための「BCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画)」について、災害発生時の対応のみならず日頃からの取り組みを実施することが大切であると述べました。

## 「福島ロボットテストフィールド」を見学

2日目は福島県南相馬市に移動し、同市内に完成した「福島ロボットテストフィールド」を見学しました。この施設は復興のための国家プロジェクトである「福島イノベーションコア構想」の一環として実現したもので、物流、インフラ点検、大規模災害などに活躍が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットなどの研究開発、実証試験などが行える、世界に類を見ない研究拠点です。東西約1000m、南北約500mの敷地に「無線航空機エリア」「インフラ点検・災害対応エリア」「水中・水上ロボットエリア」「開発基盤エリア」が設けられており、ロボットの開発研究のみならず、災害対応訓練の場としても活用が期待されています。



広大な敷地に各種のテスト・訓練に対応するさまざまなフィールドが設けられている



試験用プラント、市街地を再現したフィールドも設定



トンネル内での事故等を想定した「試験用トンネル」



復興プロジェクトの一環を担う「福島ロボットテストフィールド」



水中ロボットの実証試験に使用される水没市街地フィールド



開会挨拶に立つ山崎太議長



講師の佐藤和彦氏

# BANZAI GUIDE

## BANZAIホームページがリニューアルしました!



バンザイのホームページがこのたびリニューアル。皆様のビジネスに、お役立ていただける、最新情報をよりタイムリーに、より見やすくレイアウト。さらにスマートフォン対応、セキュリティ強化など最新のネット環境に対応するホームページに一新しました。



- スマートフォンなどデバイスに応じたページサイズに
- SSL対応でセキュリティを強化
- 商品情報の検索をより容易に、内容をさらに充実
- リクルート情報もさらに充実

より見やすく、スマートフォンにも対応

商品情報はABC分類ごとの表示と、ビジネスシーンでの検索に対応

BAN君の部屋も登場、ご期待ください!



### 編集後記



通常の年度末には凡そ馴染みのないワードの飛び交う「非常モードの年度末」である。封鎖、隔離、濃厚接触、テレワーク、時差通勤等々。制限のある現環境下ではあるが、我々は必要以上に過敏にならず、正しく怖れ、今すべき事を愚直に実践する。一方で行政には

後世の為にも一連の時系列と対策を正確に、そして正直に記録に残して貰いたい。元気の基が見えないまま迎える新年度ではあるが、本号をお読み頂ける頃には、この「地球難」からの出口が見えているであろうか。

<木村>